

# エネルギー白書から シリーズ「我が国が抱える構造的問題」

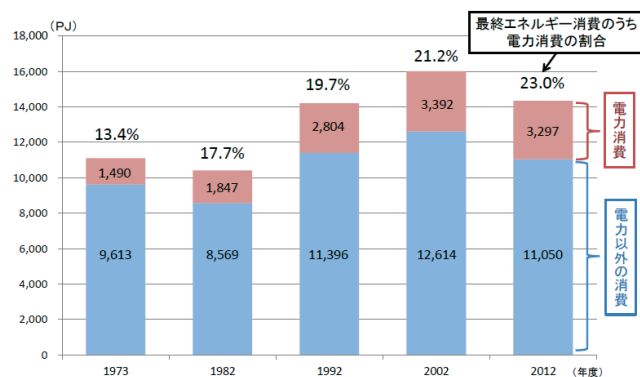
## 5 最終エネルギー消費の内の電力消費の割合

最終エネルギー消費の内の電力消費の割合は、年々大きくなっています。

また、口の都市部への集中や高齢化による生活スタイルの変化などによって、電化が進んできています。例えば、最終エネルギー消費のうち電力消費の割合をみると、1973年度に13.4%だったものが、2012年度には23.0%となっています。

さらに、電気や水素などを動力源とする次世代自動車や、ガス等を効率的に利用するコージェネレーションの導入などによるエネルギー源の利用用途の拡大なども需給構造に大きな変化をもたらしていくと考えられます。

最終エネルギー消費のうち電力消費の割合



出典：資源エネルギー庁「総合エネルギー統計」を基に作成

> 参考HP：日本のエネルギー事情のいま、をお伝えします

[http://www.fepec.or.jp/theme/now\\_energy/japan\\_energy\\_01.html](http://www.fepec.or.jp/theme/now_energy/japan_energy_01.html)

出典：資源エネルギー庁「平成25年度エネルギーに関する年次報告」(エネルギー白書)